



日本語



SRDx

画像のホコリとキズ除去機能



Professional Scanner Software

SilverFast

Brilliant Images with SilverFast



LaserSoft Imaging®

SRDx - 画像のホコリ・キズ除去機能

写真、スライド、ネガにキズやホコリなどが入るトラブルを完全に避けることは困難です。SilverFast によるホコリとキズの除去機能は、このような不具合を除去する修正ツールです。



SRDxとは?

SilverFast SRDx はすべての SilverFast スキャナーバージョン、HDRバージョンに搭載されています。SRDx は、画像の埃やキズなどのトラブルを感知し、除去するために、フルに新アルゴリズムを使用します。もちろんSRDx は、カラーフィルム、ネガティブフィルム、写真の作業にもご使用いただけます。



- 2つのSilverFast埃・キズ除去:
- SRDx:ソフトウェアベース機能。
- iSRD:赤外線ベース機能
対応しないスキャナーもあります。

SRDx - 使用方法

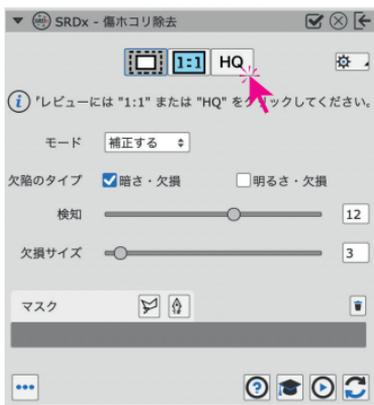
SRDx をアクティブにするには、垂直方向のツールリストのSRDxボタンをクリックしてください。左のツールドックのダイアログウィンドウが開きます。



SRDxダイアログ

SRDxダイアログ中のソフトウェアベースの画像埃・キズ除去機能を選んでください。下記のコントロール構成がご覧になれます:

- **プレビューモード:** ダイアログの上に位置する並列するスイッチから、どのプレビューを使用するか決めます。
- **通常プレビュー:** SilverFast が、オーバービューにある総合プレビュースキャンを表示します。SRDx修正は、この時モード上に表示されません。
- **1:1プレビュー:** SRDxの適用効果を正確に確認するために高解像度のプレビュースキャンが行われ、ナビゲーターウィンドウが開きます。画像の表示部分には黄色の枠が表示されます。ナビゲーターウィンドウを移動して、表示される画像部分を変更することができます。SRDxプレビューは現在の枠の中のみ行われ、黄色の枠を移動すると、常にSRDxの再計算が必要になります。
- **HQプレビュー:** 初めに画像全体の高解像度プレビュースキャンが実行されます。その後HQプレビュー全体に対してSRDxエフェクトが計算されます。ナビゲーターウィンドウの黄色い枠を移動することで新たにSRDxを計算することなく表示する画像セクションを変更することができます。SRDxの効果を画像のさまざまな領域で素早く確認、調整することができます。



- モード:** メニューでSRDx表示モードを設定:
 - マークする:** マーキング・モードは赤マークですべての不具合を表示します。
 - 補正する:** 設定したSRDx機能に対する効果がプレビュー画像に計算されます。
 - オリジナル:** このモードではオリジナルの画像のみが表示され、不具合はマークされません。修正された画像もプレビューには表示されませんが、スキャン処理を行った後の画像にはSRDxは適用されます。
- 欠陥のタイプ:** ここでは、修正したいトラブルのタイプを指定します。ポジ素材では、ホコリやキズは通常、暗い欠陥として表示されます。ネガ素材では明るい欠陥として現れます。除去したい欠陥の種類にチェックマークを付けてください。また、明るい欠陥と暗い欠陥を同時に修正することもできます。
- 検知:** このスライダーで、SRDxがどの程度強く欠陥を検知するかを決定します。まだ欠陥として認識されていない傷を見つけた場合、スライダを右に動かします。画像の必要な一部が欠陥として誤って検出された場合、スライダを左に動かします、同時に「欠損サイズ」もお試しく下さい。
- 欠損サイズ:** 見つかった欠損の周囲にある、補正の対象となる環境のサイズを指定します。スライダーを右に動かすと、より広い補正を行うことができます。



SRDx校正の効果は1:1プレビューとHQプレビューで確認できます。
標準オーバービュー・プレビューでは、表示されません。

エキスパート・モード

(SilverFast Ai Studio と HDR Studioに搭載)

エキスパートモードは修正すべき欠陥をマークするのに役立つ追加機能を提供します。SRDxダイアログの下部にある「博士帽」ボタンをクリックしてエキスパートモードを開きます。ダイアログが拡大され、2つのツールエリアが追加されます:



欠陥のマーク

ここでは、画像の一部の範囲で欠陥検出の強度を手動で調整したり、個々の画像領域を欠陥検出の対象から除外したりする為の、簡単に扱えるツールをご紹介します。

- マーカーツール:** マウスを使用して画像上で欠陥検出の強度を直接調整します。画像内をクリックし、変更したい部分の上でマウスをドラッグします。効果を高めるために、同じ部分に何度かこの操作を行うことができます。
 - 半径:** 手動調整に使用するマウスカーソルのサイズをスライダーで調整します。
 - 強度:** 欠陥検出の強度をスライダーで調整します。右へスライドすると強度が増し、反対へスライドすると弱くなります。



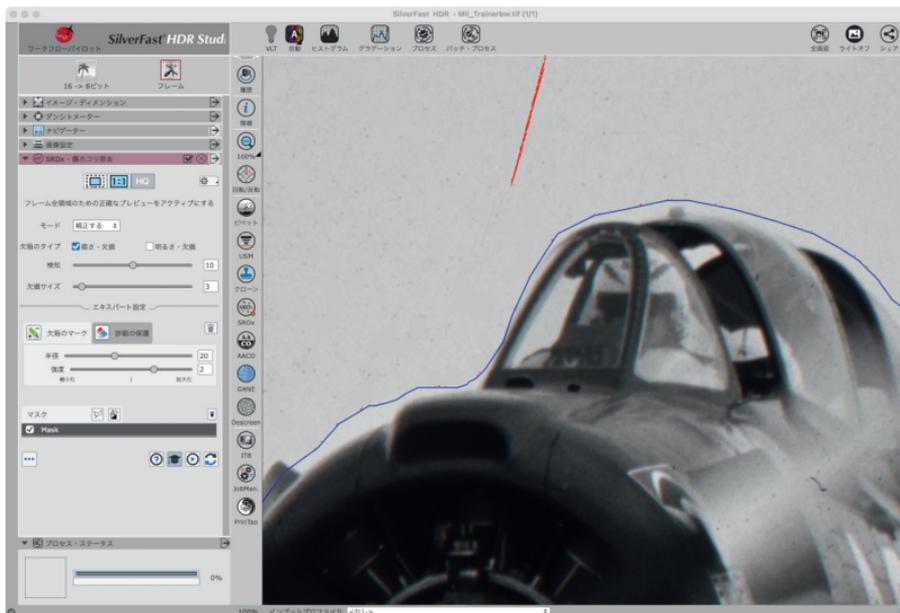
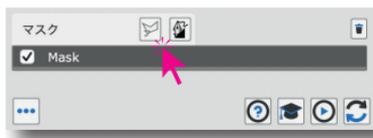
- 消しゴムツール:** 消しゴムツールは、個々の画像領域をSRDx処理から完全に除外するために使用します。画像の重要な部分を保護するのに有効な方法です。画像内をクリックし、処理から除外したい領域上に合わせてマウスをドラッグします。
- 半径:** 手動調整に使用するマウス領域のサイズをスライダーで調整します。



マスクツール

マスクを使用すると、SRDxの補正効果を特定の画像領域に限定することができます。

- ポリゴンマスク:** 画像内をクリックし、マスクしたい輪郭に沿ってマウスを描きます。
- パスマスク:** マウスでポイントを指定してマスクのアウトラインを描きます。点は直線で結ばれます。レバートールで直線・曲線の変更ができます。



マスクを使用することで、機体のディテールはオリジナルのまま保護され、空の不具合は除去されます。